

アジア国際社会福祉研究所 kara

No.60 2024. 3. 4.

編集・発行責任者 戸塚 法子

第8回国際学術フォーラム開催報告 ～リン・ヒーリー先生とマノハー・パワール先生を招聘～

2月27日に弊所主催の国際学術フォーラム「国際ソーシャルワーク理論研究100年の『その先』には何があるのか?」を開催いたしました。国際ソーシャルワーク研究で著名な貢献をされてきたリン・ヒーリー名誉教授(コネティカット大学)とマノハー・パワール教授(チャールズ・スタート大学)をお迎えし、アルカディア市ヶ谷にてハイブリット方式にて実施したところ、現地にて22名、遠隔にて65名の方々にご参加いただきました。ご後援いただいた日本ソーシャルワーク教育学校連盟をはじめ、ご協力・ご参加いただいたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。

弊所の長谷川匡俊・最高顧問(大乘淑徳学園理事長)による開会挨拶と、秋元樹・名誉所長による趣旨説明「国際ソーシャルワーク誕生100年なぜ今これを問う」に続き、ヒーリー名誉教授による講義「国際ソーシャルワーク～今も定義・理論・役割について議論を続けているのか」、パワール教授による講義「国際ソーシャルワーク～私の活動歴、これまでの歩みと今後の展望」、東田全央・主任研究員による講義「国際ソーシャルワーク理論再考」が行われました。その後、秋元名誉所長のファシリテートによる、参加者との質疑を中心としたパネル・ディスカッションが行われたのち、全体進行を担った松尾加奈・上席研究員によってまとめが行われました。最後に、戸塚法子・所長と山口光治・淑徳大学長による挨拶にて閉会しました。全体に渡って、国際ソーシャルワークを深く問い直すだけでなく、未来を見据えた議論となりました。

2月28日には、専門家会議として、前日の国際学術フォーラムを受けた議論が行われました。国際ソーシャルワークを多様な観点から問い直す、濃密な時間となりました。弊所では、引き続き、皆様方とのご縁を大切にしながら、国際ソーシャルワークのあり方について探求してまいります。



パネル・ディスカッション



全体集合写真

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースは当研究所のホームページよりご覧いただけます。

<https://www.shukutoku.ac.jp/university/facilities/asiacenter/>

◆淑徳大学内ではSナビにて月1回程度配布されます。